

UBar-200f-J2-2D(USB)

●バーコードスキャナとRFIDリーダ・ライタを一体型

- ・1台でRFIDタグ付きリストバンド等、RFIDとバーコード両方の読み取りができます
- ・バーコードの情報を簡単にRFIDタグへ書き込めます

●USBバスパワー駆動

- ・ACアダプタ不要で手軽に使用できます

●低コストでの導入

- ・ハンディターミナルと比較し機能を絞り安価に提供できます

●キーエミュレートツール「RFID2KBD」

- ・「RFID2KBD」を使用することで検出したRFIDタグのIDやバーコードをキーボード入力に変換しメモ帳などに簡単に記録できます



■製品仕様

項目	説明	
製品名	UBar-200f-J2-2D(USB)	
RFID	対応タグ通信規格	ISO18000-63/ EPC C1G2
	周波数	920.6~923.4MHz (15チャンネル)
	RF送信出力	200mW (15~23dBm)
	チャンネル選択機能	チャンネル固定、グループチャンネル選択
アンテナ	方式	内蔵 (円偏波)
	方式	CMOS(2D)
バーコード	読み取りコード	Code 128, EAN-13, EAN-8, Code 39, UPC-A, UPC-E, Codabar, Interleaved 2 of 5, ISBN/ISSN, Code 93, UCC/EAN-128, GS1 Databar, PDF417, QR Code, Data Matrix
		スイッチ × 3
ユーザーインターフェース		ブザー
		バイブレータ
		LED × 3
電源	USBバスパワー	
上位インターフェース	USB (仮想COM) ケーブル長1.9m コネクタAタイプ	
サイズ	115 × 80 × 20 mm	
質量	180g	

- 対応OS
- Windows
Microsoft® Windows® 7(32bit版/64bit版)
Microsoft® Windows® 8/8.1(32bit版/64bit版)
Microsoft® Windows® 10(32bit版/64bit版)
 - Android
Android バージョン3.2 以降で、USB ホスト機能を有する端末

対応規格 ARIB STD-T107, RoHS

■自立制御モード時の主な機能

本機のスイッチ操作によりRFIDタグ、バーコードの読取やタグ発行(書き込み)が行えます

●ステータススイッチ

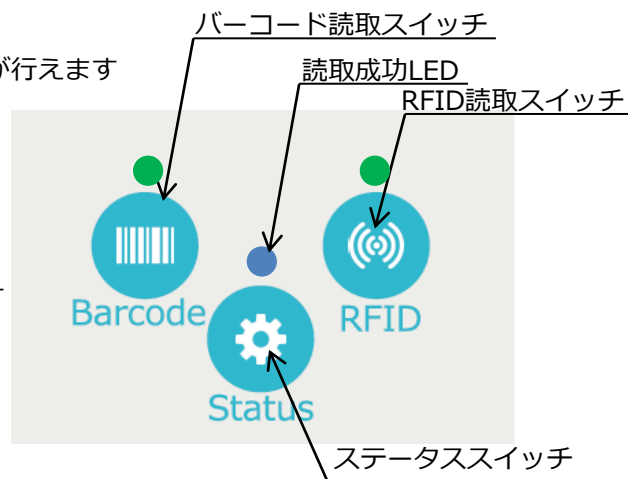
- 短押し：RFIDタグの読取りパターンを切替えます
- 長押し：RFIDタグやバーコードの読取りを行う読取モードとタグ発行に使用する書き込みモードを切替えます

●RFIDタグ読取スイッチ

- スイッチ押下でRFIDタグの読取りを開始します
- パターン①Single：スイッチから離すまたはRFIDタグの読取りで停止します
- パターン②Multiple：スイッチから離すまで連続で読取りを行います

●バーコード読取スイッチ

- 読取りモード時：バーコードの読取りを行います
- 書き込みモード時：バーコードを読み取り、RFIDタグのEPC領域へバーコード値の書き込みを行います。



■2種の動作モード

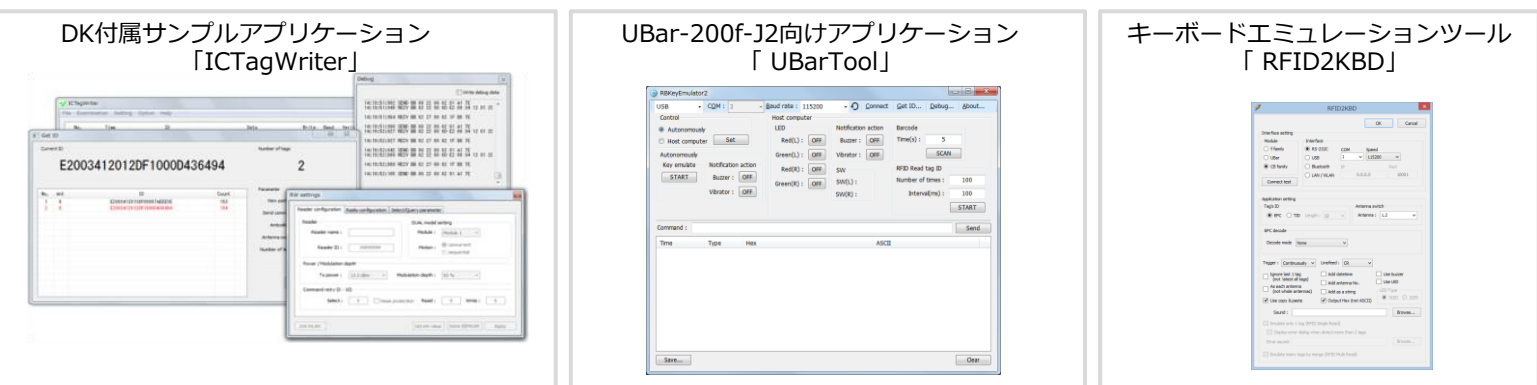
本機のボタン操作により動作する自立動作モードと上位から本機の制御を行う上位制御モードの2種の動作モードを搭載しています。

モード	説明
自立動作モード	<p>本機のボタン操作によりRFIDタグやバーコードの読取り動作を行い結果を上位へ通知します。</p> <p>□主な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> RFIDタグの読取り(Single/Multiple) バーコードの読取り バーコード値のRFIDタグへの書込み(書込みモード) <p>※自立動作モード中の上位からの制御は動作モードの切替え等、一部のコマンドを除き対応していません</p>
上位制御モード	<p>Windows PCやアンドロイド端末から本機を制御できます。</p> <p>上位制御モード中は本機のスイッチ操作によるRFIDタグの読取りやバーコードの読取りはできません。</p> <p>□主な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> RFIDタグへのアクセス制御ができます 特定領域のメモリへの書込み等、リーダ・ライタに搭載しているほぼ全ての機能を利用できます バーコードの読取り制御ができます LED、ブザー、バイブレーションのON/OFF制御ができます リーダ・ライタの設定値が変更できます 本機のスイッチ押下を上位へ通知できます

■開発者支援キット

開発者支援キット(DK)は、機能検証とソフトウェア開発のためのRFID開発支援キットです。本体のほかに、サンプルアプリケーション、開発用ライブラリ(API)、コマンド仕様書、サンプルソースなどが同梱されております。

サンプルアプリケーション「ICTagWriter」は、UHFタグのエンコードが簡単に行え、メモリアクセスやリーダ・ライタの設定・機能が確認できます。UBar-200f-J2の開発者支援キットには上記と併せて本機用のアプリケーション「UBarTool」や追加のAPI仕様書、プロトコル仕様書が付属します。「UBarTool」は本機独自の機能検証が行えます。「RFID2KBD」は検出したUHFタグのIDやバーコードの値をキーボード入力に変換し、メモ帳などに簡単に記録できるキーボードシミュレートツールになります。



項目	内容
製品名	UBar-200f-J2-2D(USB)-DK
構成	本体、CD-ROM、サンプルタグ
CD-ROM 1	UHFリーダ・ライタファミリDK
CD-ROM 2 (UBar-200f-J2専用)	アプリケーション「UBarTool」(Windows対応) ※1 セットアップガイド、追加プロトコル仕様書、追加API仕様書、取扱説明書
開示情報	API仕様※2、プロトコル仕様、サンプルソースコード(API利用)
開発環境(API使用时)	Microsoft® Visual Studio® .NET 2003以降 (Visual C++, Visual Basic .NET, Visual C# .NET) Microsoft® Visual Basic6.0

※1 Android向けの評価アプリケーションは付属していません

※2 Android向けのAPIはご用意していません。Android端末で制御する場合はFTDI社の「JAVA D2XX for Android API」とリーダ・ライタプロトコルを利用して開発が行えます。

	<p>お問合せ先 info@artfinex.co.jp TEL : 03-3526-3870 FAX : 03-5289-7352</p>
	<p>株式会社アートファイネックス 東京都千代田区内神田2丁目15の9 The Kanda282 5F https://artfinex.co.jp/</p> <p>株式会社アートファイネックスは、ソーバル株式会社からRFID事業を2015年3月31日付にて、譲受致しました。</p>

仕様・外観・製品構成は、改良のため予告なく変更する場合があります。最新の情報につきましては、弊社のRFIDサービス・製品情報ウェブサイトでご確認ください。

本製品は電波を使用したRFID機器の読み取り・書き込み装置です。そのため使用する用途・場所によっては、医療機器に影響を与える恐れがあります。本製品を運用する際は、総務省、(社)日本自動認識システム協会及び関係団体の定める運用ガイドラインをご確認の上、適切にお取扱ください。「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」総務省(報道資料):平成21年5月